

居住環境計画 Planning of Livable Environment

教員名	鈴木毅（すずき たけし）、松原茂樹（まつばら しげき）							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 8 階 811 室または 821 室 電話：06-6879-7640 または 7641							
E-MAIL アドレス	t-suzuki@arch.eng.osaka-u.ac.jp shigeki@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（2 年次）							
単位	2	セメスター				4		
受講条件	建築計画基礎を履修していることが望ましい。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築計画基礎による建築計画についての基本的理解の上に、住居及び生活を支える施設と居住環境の計画についての理解を深めることを目指す							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎					○
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目標
	住宅とそれを取りまくもの（1 回）	住宅を取りまく様々な住宅と集住の歴史性・文化性・地域性・階層性、居住環境、住宅問題・住宅政策・住宅生産に関する基本的な知識を身につける（包括1回）。						A、C、H
	独立住宅（2 回）	近隣環境・敷地計画、家族・生活と空間の関係、住宅建築の歴史に関する基本的知識を身につける（包括1回）。また平面・断面計画、細部設計、環境・設備計画、構造計画に関する専門知識を身につける（高度1回）						A、C、H
	集合住宅（2 回）	集合住宅・共同住宅の形式、供給主体、所有・管理方式、住戸計画、住棟計画、公-共-私の空間構成、共用空間に関する基本的な知識を身につける（包括1回）。また近年の新しい試みの専門知識を身につける。（高度1回）						A、C、H
	住宅地計画・居住環境計画（3 回）	コミュニティ計画の系譜、居住環境整備・都市計画・地区計画、ニュータウン計画、住区構成、公共・公益施設計画に関する基本的な知識を身につける（包括2回）。生活をかたちづくるための、居住環境の質、生活を支える資源に関する専門的な知識を身につける（高度1回）。						A、C、H
	教育施設・児童・青少年施設（2 回）	教育施設の歴史、小学校の配置・平面計画、中学校・高校・幼稚園の計画に関する基本的な知識を身につける（包括2回）。また小学校・中学校・高校の学習形態と教室、のに関する専門知識を身につける。（高度1回）						A、C、H
	福祉施設（4 回）	福祉制度、福祉施設の系譜・種類、居住福祉、高齢者・身障者の住宅の種類、地域環境、施設的環境と家庭的環境、高齢者・身障者の心身特性と「住まい方」に関する基本的な知識を身につける（包括2回）。また福祉施設（居住系及び通所系）の計画、高齢者・身障者の住宅の計画に関する専門的な知識を身につける。（高度2回）						A、C、H
	学期末試験（1 回）							
教科書	特定の教科書は用いない							
参考図書・文献等	鈴木成文「住まいを読む-現代日本住居論」建築資料研究社							
成績評価方法・評価基準	学期末試験(80%)、レポート(20%)で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	定められた日程を遵守し、かつ十分な努力を払うこと。							